

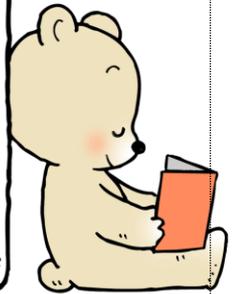


教育研究所情報発信誌

K E Y A K I



下野市 教育研究所



心を一つに、人とのつながりを大切に

春といえども新年度は寒い始まりでしたが、季節は忙しく夏を迎える準備をしているようです。新学期が始まり、学校でも忙しい日々が続いていることと思います。新型コロナウイルス感染症はまだまだ予断を許さない状況ではありますが、先生方の温かいサポートのお陰で、子どもたちが元気に学校生活を送り、学びを続けることができます。本当にありがとうございます。

今では、黙食やマスクをしてお話の当たり前となり、人と人の積極的なコミュニケーションの場が少なくなっています。しかし、今年度も、感染拡大状況を見ながらではありますが、運動会や校外学習等の学校行事も予定されていると思います。様々な教育活動を通して、子ども達が心を一つにして取り組んだり、人とのつながりを感じたりできるような活動が少しでも実施できることを祈っています。先生方ご自身の体調管理にも留意され、今後も子ども達のためにお力添えをお願いいたします。



【5月の予定】

※ 時間のみ記載の研修会の場所は下野市役所です。

※ ○市教育研究所主催行事 ○市関係行事 ○学校関係行事 ○その他

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 憲法記念日 	4 みどりの日 	5 こどもの日 	6	7 
8	9 下地区教育相談連絡 会研修①(小山市マ ルベリー館) 子ども未来プロジェクト 担当者研修 15:00	10	11 ALT 研修① 14:30~	12 学習指導法研修 ①14:00	13 下地区春季体育 大会(~15日)	14 運動会 (細谷小)
15	16 定例教育委員会 特別支援教育推 進研究①14:00	17 情報教育研究会 ①	18 定例校長会議 9:00~ 小中一貫の日 (石中区、二中区)	19 アレルギー対応 研修(国分寺小) 14:15	20 共同訪問 (古山小)	21 体育祭 (南河内小中)
22	23	24 下中教研 子ども未来プロジェクト 14:00	25 小中一貫の日 (南河内小中区)	26 社会科副読本の活用研 究①15:00	27 道徳教育研修 (国分寺中) 13:05	28 運動会 (国分寺小)
29 修学旅行~ 5/31(二中)	30 修学旅行~6/1 (石中)	31 図書館教育担当・図書支援員研 修、学校図書館活用研究① (南河内小中)14:00 英語研修①14:30	  			

質問紙調査結果を生かした授業改善について

全国学力・学習状況調査
とちぎっ子学習状況調査

4月19日（火）に全国学力・学習状況調査」と「とちぎっ子学習状況調査」が実施されました。今年度は2年ぶりに4月の実施となりました。

栃木県では、平成27年度の「とちぎっ子学習状況調査」の質問紙調査において、「授業において、ねらいの提示や振り返りの実施状況について、学校と児童生徒の捉え方に差が見られる。」という結果がありました。先生がねらいを示していると思っても、児童生徒は「ねらい」をあまり意識できていないことがあることが分かり、継続して改善が求められています。

毎年、学校としての課題を把握し、授業改善につなげるための取組を実施していただいておりますが、「ねらい」と、ねらいと深くつながる「振り返り」に関する授業改善の視点について、改めて確認したいと思います。

授業改善に向けた視点1 授業の目標（めあて・ねらい）を子どもたちに示すこと

「ねらい」を示すことは、児童生徒の学習意欲を高めたり、本児の学習をどのように進めていくのかなど、見通しをもたせたりするための一つの手段であり、示すことそのものが目的ではありません。

教科の特性や学習内容を踏まえて、児童生徒の体験と関連付けたり、これまでの学習内容を想起させたりするなど、「ねらい」の示し方を工夫することが必要です。

授業改善に向けた視点2 授業を振り返る活動を行うこと

振り返る活動は、児童生徒にとって自分の学びを評価する活動です。この活動を通して、授業の前後で、自分の考えがどのように変わったのか、何が身に付いたのかなどを自覚させることが重要です。そのため、評価問題を解かせたり、条件を示して学習したことを書かせたりするなど、振り返る活動を工夫することが大切です。

（参考）平成30年3月栃木県教育委員会 保存版 授業改善に向けた3つの視点 Vol.2

この二つの視点は「当たり前」のこととして捉えられているかもしれませんが、児童生徒の学習意欲の向上、学習内容の確実な定着につながるものとして、再度確認をお願いいたします。

令和4年度から令和7年度までは小中一貫教育推進期です

平成31（令和元）年度から令和3年度までは、「第Ⅲ期 小中一貫教育導入期」として、小中一貫プロジェクト委員会を中心とした、中学校区ごとの取組を実施していただきました。

令和4年度から令和7年度までは、「第Ⅳ期 小中一貫教育推進期」とし、2年間を一区切りとしました。

4月28日（木）に開催した今年度第1回目の小中一貫プロジェクト委員会では、本市の成果指標の確認や今年度の重点についての協議を行いました。

今後の小中一貫の日を中心に、各中学校区の研究テーマ、今年度の重点等を共有し、各地区の実態に合わせてできることを話し合っただけであればと思います。

他地区との情報共有や連携も視野に入れながら、更なる推進をお願いいたします。



R4.4.28 小中一貫教育プロジェクト委員会

小中一貫教育実践の具体 第Ⅳ期（R4～R7）		参考資料①
4-1 小中一貫教育推進期	● 実践の具体 - 中学校区に小中一貫教育推進期を推進している。……… - 授業の振り返りや見直し、学びの振り返り……… - 実践研究協議や各中学校区の連携状況を把握し、小中一貫教育推進期の実践を推進している。……… - 協議や実践研究協議などを通じて実践を推進している。……… - 小中一貫教育の推進や実践の推進を推進している。……… - 協議や実践研究協議、実践で取り組む実践を推進している。……… - 実践や実践研究協議などを通じて実践を推進している。………	● 実践の具体 - 小中一貫教育推進期を推進している。……… - 実践研究協議、実践で取り組む実践を推進している。………

小中一貫教育実践の具体

令和4年度以降、更に充実させていきたいことについて話し合いました。ご確認をお願いいたします。